

【安全・安心グループ】

堀金中 中田侑来

私は、堀金中学校2年、中田侑来です。

安全・安心グループは、3人で構成され、住みよいまちづくり、危機管理、都市計画について、学習をしました。そこで、各議員から質問をさせていただきます。

私は、自然災害が起きた時の対策についてお尋ねします。

私が思っている課題は、食料や水など備蓄品の補充、避難所の整備、そして何より市民一人一人が、災害が起こった時に適切な行動をとれるか、ということについてです。

災害時、自分が何をしてよいのか、またそれが本当に適切なのか冷静な判断ができにくいと思います。とった行動に後悔し、人の命がなくなるなんてことは、絶対にあってはならないことだと考えています。

長野県の場合は地震・土石流・噴火などの自然災害があります。—その災害が何日間続くのかもどれくらい酷いかも分かりません。食料が付き、命を落とす可能性もあります。

そこで、一つ目の対策は食料や水など備蓄品の補充です。人の命がかかっているので、できるだけ多くの水や食料が必要だと考えます。

二つ目に避難所の整備です。大抵避難所に指定されている場所は学校です。まずその避難所の学校が地震などの自然災害で壊れないか確認しておく必要があります。私の学校では雨漏りや、体育館では「ミシミシ」という音が鳴ります。地震で学校が潰れるというケースも少なくはありません。学校の耐久性を上げ、避難所の整備ができれば、災害時に学校で食料などを受け取ることができます。守れる命を守る。助けられる人々の命を助ける。そんな安曇野市であるべきだと考えます。そのため、避難所になる身近な建築物の点検をしてもらいたいと考えます。

しかし、残された問題があります。食料や水などを受け取るために、自分はこの避難所へ行けばよいのか、どうやって行けばよいのか分かっていなければ、食料や水にはたどり着けません。災害時は、少しの判断ミスで命を落としてしまう可能性があります。そのため市では、もっと自然災害に関わる講義や避難場所の周知をしてほしいと考えます。これが、三つ目の対策です。

自然災害から身を守るためには、自分自身で命を守れるようにすることも当然大切です。しかし、並行して市としての取組を進めていただき、一人一人が自分の命を守れるような安曇野市になるとよいと考えます。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 総務部

【安全・安心グループ】

三郷中 深尾 光希

私は、三郷中学校2年、深尾光希です。

私は、自転車の交通安全についてお尋ねします。

自転車の交通安全について私が思う課題は、市民の自転車の交通安全に対する意識が低いことと、自転車専用の道路、自転車通行帯などの道路環境が整っていない場所が多いことの二つだと思います。

その課題が起きている理由として、自転車は免許が必要なく、誰でも買えばすぐに乗ることができます。そのため、道路交通法などを詳しく知る機会がないからだと思います。道路環境については、安曇野市の道路は幅が狭い場所が多いからだと思います。

そこで、私は、自転車の交通安全意識の強化と道路環境の整備を行えば、今より自転車の事故が減り、安全で安心して生活できる安曇野市になると考えます。

その実現のために、私ができることは、今も行われている「家族での話し合いの実践」をさらに広めていくための呼びかけを行うということです。

私は、自転車競技をやっていて、毎週日曜日はチームで走っています。走っていると、右側を走行していたり、イヤホンを耳に付けて音楽を聴きながら自転車に乗ったりしている人を見ます。このようなことは危険で、間違えれば事故に繋がるかもしれないので、知り合いなどに呼びかけて家族で話し合ってもらいたいと思います。

市にお願いしたいことは、自転車に適した環境整備を積極的に進めることだと思います。安曇野市は自然が豊かで景観が素晴らしいです。自然を壊さずに自転車専用の道路を作ることは大変です。しかし、工夫をすれば解決できると思います。例えば、少し幅が狭い道路なら、「矢羽根型」の表示を道路に書けば、より分かりやすく走行しやすくなると思います。そうすることで、市民の意識が変わり、自転車の事故が減るのではないのでしょうか。

交通事故は、起こしてしまった人も、事故にあった人も心に傷をおいます。そんな事故を減らし、安全で安心して生活できる安曇野市にしたいと思います。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 市民生活部

【安全・安心グループ】

豊科南中 宮澤 晶穂

私は、豊科南中学校2年、宮澤 晶穂です。

私は、建築住宅についてお尋ねします。

私が思う課題は、壁面広告物などに比べ、地上設置広告物の落下事故が多いことです。この課題がなぜ起きているかという点、看板設置の許可基準が少し高めであるのと、古い看板などは、固定されている部分がゆるくなっているからだと思います。このため、強風など起きた場合、看板がゆれて落下事故が多発しているのではないのでしょうか。

そこで私は、看板設置を見直す、また、本体の高さの許可基準を低くして、事故防止につなげるという方法を考えました。その実現のために私ができることは、落下の危険性がある看板を見かけたら、お店の方や地域の方々に報告して、事故防止につなげたいと考えています。また、その実現のために市にお願いしたいことは、月に1～2回程度、市内の屋外看板設置場所の見回り、落下の危険性のある看板についての呼びかけなど一人一人が意識するように工夫する、ということを考えました。そうすることで、落下物での事故を減らすことができ、呼びかけによって、一人一人が今まで以上に事故に対して意識してくれるのではないかと考えます。

また、安曇野市は看板の設置を規制していたり、制限を加えている地域もあります。生活環境の美化、美しい田園都市安曇野を目指していくために、現在看板の設置について、市として考えていること、また今後の構想についても合わせてお聞かせ願いたいと思います。

「以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」

【ご担当部】 都市建設部